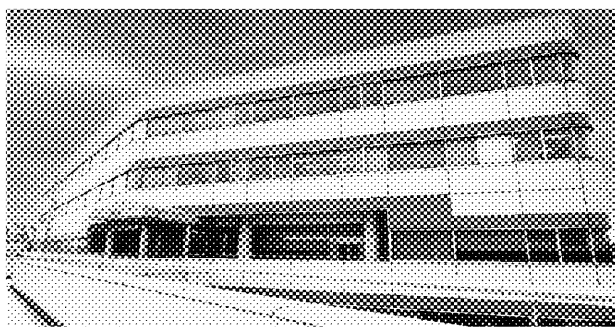


川崎に磁石製品物流拠点

マグエバー



佐川グローバルロジスティクスの「川崎SRC」内に開設するマグエバーの物流拠点「川崎ロジスティクスセンター」

マグエバー（東京都渋谷区、沢渡紀子社長）は、川崎市川崎区に物流拠点「川崎ロジスティクスセンター」を開設し、2024年1月に稼働する。自社の物流拠点設置は初めて。複数拠点に在庫していた磁石製品を集約して管理することで物流業務を効率化・省人化し、2割程度の生産効率化を目指す。

在庫管理を集中・効率化

マグエバーはこれまで在庫品を委託先の物流倉庫や本社など複数拠点に分散して管理しており、約2000種類ある磁石製品の管理が複雑化していた。物流プロセスを見直し、物流の核となる拠点を設置することで、サービスや品質の向上を目指す。

物流拠点は佐川グローバルロジスティクス（東京都品川区の「川崎SRC」）川崎市川崎

区内に設置する。高速道路に近接するなど交通アクセスが良く、延べ床面積は約66平方メートル。約200万円かけて磁石の磁力やサイズなどを測る4種類の測定器を導入する。川崎ロジスティクスセンターで働く社員をセンター長として新たに人員を雇用し、製品の保管から仕分け、検査、梱包、集荷など在庫管理を効率化する。

同社は磁石製品について商社事業のほか、OEM（相手先ブランド）による生産、シリコンマグネットなど自社製品の製造販売を行う。